

第18回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和6年6月8日(土) 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 東小金井駅開設記念会館・マロンホール
- 3 参加者 市長及び市民13名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ (市政報告)
 - (3) 懇談 (フリーテーマ)
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	新小金井街道の桜の伐採について	新小金井街道の桜並木というのは、誠に素晴らしいです。良い所だと思っていたんですけど、いつの間にか桜が伐採されて、見る影もないです。何でそういうふうにしちゃったのか知らないけども、あの桜は見事なものでした。いずれにしても、この桜は玉川上水沿いにもあって、これ以上、とにかく伐採してほしくないと思うので強く求めたいと思います。	新小金井街道の桜の伐採については、これは都道ですので、東京都さんのほうで判断されて、切られたということを知っております。ただ、なぜ切ったかという細かいところまでは、こちらで確認できておりませんが、桜のみならず、街路樹の管理というものは非常に悩ましいものがございますので、台風が起ったときに倒れたら、やはり管理者の責任が問われるわけですので、安心、安全のために、その木の状況を見て判断されたものと捉えています。
2	新小金井街道の坂下エリアのハナダイコンについて	新小金井街道の坂を下りたところにライオンズマンションがあって、その北側に、空き地というか、昔はハナダイコンの畑があったんです。今は栗の木が植わっているんですけど、あそこはハナダイコンを継続的に植えていきたいと思います。業者の建設会社と約束した所なんです。つい先日、あそこの前を通りましたら、もう見るも無残な状況で荒地になっていて。業者には、ハナダイコンをちゃんと継続的に植えていきます、という約束どおりにさせてほしいと思います。	新小金井街道の坂下のハナダイコンの件については、民間が関わっているとのことで、私自身、よく存じ上げておりませんので、状況確認をして、何かお答えできるものがあれば、それはまた別途、お答えしたいと思います。
3	都市計画道路3・4・11号線について	3・4・11号線について、資料を見ると、中止・見直しを要望するために、根拠を示す必要があるということで、独自検証を実施と書いてあります。それはそれでいいんですけど、実際にはもう、都は色々やろうとして動いていて、一方で、これはもうやめるべきだという反対意見も相当強く出ている。高架化が進んだために、交通渋滞はかなり解消されたと思うので、もう今更、あそこにお金を掛けて、新しく道路をつくる必要なんてないと思っているんですけども、ここで市長がおっしゃる「独自検証」というのは、いつまでに誰がやるんですか。それをどこに、どういうふうを持っていくんだということがさっぱり分からないので、もう遅々として進んでないという印象なんです。ですから、これを本当にどういうふう考えているのかを聞きたいと思います。	3・4・11号線の独自検証については、今年度、その結果を出す予定になっています。一応、今年中に検証を終えるということで、一旦スケジュールは切っております。その検証を終えて、市として総合的な判断をした上で要望書を出すという手続を考えてはいますが、検証方法、内容を含めて、細かいところを今、詰めておりまして、議会にも情報提供しながらやっていく予定になっています。いずれにしても、今は定例会中で、来週火曜日に建設環境委員会が開かれますので、そこで一定の資料を出して、こういう検証方法、スケジュールで今考えていますということを御説明する予定になっておりますので、もしよろしければ、それを御覧いただければと思います。今はまだ御説明できる段にございません。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	小池都知事への出馬要請について	小池都知事の出馬要請に関する事なんですけど、白井市長は要請のグループに入っていませんでした。これはどういうことなのでしょう。自分は3選を支持しないということなのか、それとも、周辺市長会から誘いがなかったのか。その辺、非常に興味があることなのでお聞きしたいです。	東京都知事選挙出馬要請に関する件ですが、非常に政治的な話になりますので、ここでの私のお答えは控えさせていただきます。申し訳ありません。
5	友愛活動について	コロナが終わった後、介護の友愛活動というのが復活しました。そうしたら、男の介護認定者が、どうも女性の訪問に対してハラスメントがあったような話を聞きました。私も要介護1なので、コロナで駄目になって、また復活したというので喜んでいるんですが、これ、どうお考えでしょう。その人を罰すればいいことだと思うのですが。	友愛活動の復活と、それに関連して、何かハラスメントという言葉がありました。私も事実関係を確認しておりませんので、そういう御意見があったということで、担当と話をしてみます。
6	歳入を増やすための工夫について	小金井市の予算は大体、400億円前後でしょう。もっと抜本的に、何か、小金井市が儲かるように知恵を絞るような職員の教育とか指導とか、そういうことはできないものですか。	儲かるように知恵を絞ってくださいということと、職員の教育というか、研修等を充実してくださいということですね。 これは非常に重要なことだと思っていて、小金井市は歳入、要するに、お金が入ってくる構造というのが硬直化しておりますが、一方で、ふるさと納税ではお金が約8億出ていくという非常に苦しい状況ですので、「いかに稼ぐか」ということをこれから考えないといけないと思っています。そのために何をやっていくかは、それこそ職員といろいろアイデアを出し合って考えたいです。今までやっていないことでも、思い切って取り組まないといけないと思っていますので、これまでの市役所の概念から飛び出して、いろいろアイデアを出してやっていこうと発破は掛けておりますが、なお、検討していきたいと思っています。 また、おっしゃっていただいたような職員の教育や研修、これからの時代に向けた市役所像、そして、市役所職員の在り方を踏まえて、人材育成の制度については見直していきたいと考えております。
		昔、渡辺大三議員が小金井で温泉を掘ろうじゃないかと言いました。小平の温泉と府中の温泉を線をつなぐと、ちょうどその真ん中辺りに武蔵小金井駅が来るんです。あそこ、空き地があるんだから、もってこいじゃないですか。	温泉といえば、ちょっと正確な話じゃないですが、東小金井のあるマンションで、温泉を掘ろうとしたという話がありました。いずれにしても、そういう御意見もあるのかなと思います。小金井市は、外から人が来てもらうような観光資源が少ないと思っていますので、それをどうするかということ、小金井市内で人が交流してお金を落とす仕組みをどうつくるかということの2点について、しっかり考えたいと思います。
7	学校給食費無償化について	学校給食について、ぜひ小金井市でも、質を落とさないで無償化を実現していただきたいという要望と、それに対しての見解についてお伺いしたいです。	学校給食の無償化の件については、非常に悩ましいところです。今、小金井市として取り組めていない大きな背景としては、やはり財源、お金の問題です。東京都から半額、補助していただけることになりますので、総額でいうと、約5億円掛かるところ、2億5,000万円です。ということではあります。ただ、まだ小金井市として、それに踏み切れるお金のやりくりを整えられていないという状況です。 ただ、小金井市は誇らしい学校給食をやっている、それは自慢したいところなんです。全小中学校で、自校方式で給食を提供しているのは、多摩地域でも少ないです。お金の効率を考えると、給食センターというのをつくって、そこから配送するやり方のほうが、コスト効率は多少いいはずですが、小金井市は歴史と伝統で、全て校舎内で調理をしているので、温かくておいしい給食をそのまま食べられます。調理業務自体は民間委託しておりますが、みんなで話し合っ、しっかり小金井市学校給食の指針というのをつくって、温かく美味しい、伝統の、小金井市の良い給食というのを保てるようにやっているところです。 そういった背景はありながら、とはいえ、近隣の自治体でも、軒並み学校給食費無償化を始めてしまいましたので、小金井市としても、さすがに無視できない状況にはなってきているというのが、正直なところ。いつ、どうできるかというのは、ちょっと今の段階では、まだお答えできません。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
		<p>白井市長もツイッターとかに上げられていたと思うので御存じかと思うんですけど、石丸市長がおっしゃられていたのは、市長がやろうと思えば、市長の裁量でできると断言されておりました。それは優先順位の問題でしかない。なので、優先順位をぜひ上げていただくと、御検討いただけただら幸いです。</p> <p>いくら白井市長が給食費を無償にしましょうと大きく叫んでも、市議会で否決されます。いくら市長が給食費無償化を上の方に持ってきても、それは市議会議員によるわけです。今度、選挙がありますから、そういう考え方近い人に働きかけて、そういう人を選んでくださいと私は思いますが。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>その話でいきますと、私は直近までは、給食費無償化はやるべきじゃないと思っていたんです。何故かという、どこに優先的にお金を投資していくかという点で考えて、子どもたちの教育に直接資する部分に、やはりお金を投資していくべきだと思っていたんです。ですので、給食費を無償化するお金があったら、まだ出来ていないそういうところ、しっかりやるべきところに順番に、お金を配分すべきだと、今でも思っています。</p> <p>何故かという、給食費無償化とは言いながら、これまでも就学援助という制度があるんです。経済的に厳しい御家庭に対しては、給食費や学業にかかる経費を市としてお金を出すというものです。要するに、負担が要らない就学援助という制度があって、経済的に厳しい御家庭に対しては、そういう制度でしっかり担保してきたという前提だったので、給食無償化というのは、私から言いますと、ばら撒きだと思っていたんです。</p> <p>ただ、やはりこれだけ物価高騰があって、家計が苦しくなってきたという背景も分かってきていますし、社会がそういうふうになってきた、近隣の自治体も始まってきたという背景からすると、その検討のフェーズというのは変えないといけないという認識に立っています。今、具体的には申し上げられませんが、小金井市としても、「一切もう、やらない」と言うつもりはなく、検討せざるを得ない状況になっているということだけはお伝えしておきます。</p> <p>御意見として伺います。</p>
8	学校施設の充実化について	<p>これは子どもから聞いたことですが、学校の施設をもっと整えてほしいです。例えば、トイレが汚なかったり、プールも屋内以外では暑いし、寒いときもあつたりすると。あと、校庭も芝生が良いとのこと。たしか本町小は芝生だったかと思うんです。なので、そういった学校間の格差的なところも、少しずつ埋めていっていただけたらというのが、子どもから出た意見なんです。</p> <p>私は、子どもがそういう現実的な意見をせざるを得ない環境にあるということは、ちょっと悲しいなと感じました。まずは、ベース部分を改善していただけて、子どもがもっと創造的な意見が出せるような環境につくり変えてほしいなと思いますので、これを早急をお願いします。</p>	<p>学校施設の件は、もう何も言い返すことがないところです。ただ、トイレは汚さや臭い等は残っていますが、洋便器に変えていくことは出来てきています。ですので、洋便器化率は、今年度の工事で、大体8割を超えるということですが、ただ、やはり臭いとか、古いということとか、もしくは、学校施設のいろんな修繕というのが、まだ行き届いていないところがあるのも事実です。これについては我々も認識しておりますし、議会からもずっと厳しい御意見をいただいているところですので、財源をどう充てていくかということについては、やはり学校施設にこれまでお金をかけてこなかった経過がありますので、そこは重たく含めて、いろいろ話し合って、出来るところからやっていきたいと思っています。</p> <p>プールについては、今年、まず、本町小学校の4、5、6年生から、総合体育館のプールを使って授業を行うということをモデル事業として始めるところです。もっと早くから出来たら良かったんですけど、今年から始めます。多摩地域では、もう全校、屋内プールで授業をやるというふうになり替えたところもありますし、私たちとしてもいずれそういうふうなことも視野に入れております。そうすると、プールのスペースも使えたりもしますので、そういうことも含めてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>子どもの御意見として、そういう御意見が出たということは市としても受け止めたいと思います。</p>
9	公園遊具の補修について	<p>個人的にすぐにやっていただきたいんですが、公園の遊具について、壊れたまま放置されて、時間がすごく経っているものがあります。栗山公園のボルダリングのものも、先日まで、立入禁止的なテープが貼られていたんですけど、今はもう剥がれていて、普通に子どもたちが遊んでしまっています。テープを貼り直すぐらいだったら、すぐ出来るかなと思うので、まずは、危険性をできる限り減らしていただきたい。かつ、早急に、安全に元の状態で遊べるような状況に戻していただきたいというふうに思います。</p>	<p>公園の遊具については、補修などに使う予算は一定取ってあるんですけども、その範囲内でずっとやりくりしているという状況は確認しています。ただ、おっしゃったように、子どもたちが結局そのまま使ってしまったというのは、何かが起こった時には当然市の責任になりますし、子どもたちにとって、そういう環境を放置しているというのは良くないので、こういう御意見をいただいたということも含めて、今後の対応策については、なお、検討したいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
10	LINEでの問合せについて	<p>白井市長になったら、すぐ市の公式LINEがスタートしました。こんなにスピーディーに何でも変わっていくのかなと思って、ちょっと驚きました。でも、市からの情報は取れるようになりましたけど、逆にこちらからの意見や質問なんかは、市長の個人的なLINEにだったらできるんですけど、市のそれぞれの部にはできない。電話ができる者はそこに電話連絡できるんですけど、電話ができない方もいらっしゃって、その方の中でもファクスしか使えない方もいます。ファクスは、それぞれの部署に1台しかないから、緊急性のあるものがすぐに届かないこともあると聞きました。そういう場合に、担当者にLINEを送ることができないものだろうかと思っています。全部と言わずとも必要な部署もあるのではないかと。とても緊急性のあるときに、LINEで送ったら、すぐ返事がもらえるようなシステムは難しいのでしょうか。</p>	<p>LINEで市政情報を取れるようになったけれども、こちらから送れるような窓口は、LINE上に設けられないのかということですね。ホームページやファクスでも、市民の皆さんから忌憚のない御意見をいただける「市民の声」という制度がありまして、LINE上からホームページに飛んで、そこを利用するということができます。ですが、平たく言うと、LINE上で意見が出せたら、そのほうが早いよねということですよ。</p> <p>似たような御意見はいただいていますので、担当において検討してみたいと思います。</p>
11	公園の植樹環境について	<p>公園は民間に委託なさるとのこと。もう随分前に、桜町にきりの木公園ができましたが、その時はまだ、市が公園を直営していらっしゃったと思うんですけど、やたらに木を植えていました。水と緑のまちですから、緑を多くしたかったのかもしれないんですけど、きりの木公園という名前なのに、桐の木2本に、何か別の木2本に、夏のサルスベリやら何やら、もともと桜の木のある場所にわあっと植え始めたんです。そこで、「桜の木のそばに、そんなに何本もサルスベリは要らないんじゃないですか」と言ったら、何本か引いてくださったんです。</p> <p>そういうふうには、新しい公園をつくる時に、公園の植樹環境について、もうちょっと先を見越して植えていただきたいと思っています。日陰になれば、下草が生えてしまって、子どもが遊ぶときに、日が当たらないような状態もつくりまですし、もう草刈りが大変だろうなという状況をいつも見ているので。</p>	<p>新しい公園ができる時の植樹環境についてですね。大体、住宅開発のときには、一定の割合で公園をつくる、いわゆる提供公園が定められています。そこについて、今、どういう段取りでそうなるのかということの確認できておりませんが、今後、新しい公園ができるときには、そういったこともしっかり考えて行うということ、担当にしっかりお伝えしておきます。</p>
12	ふれあいメロディーについて	<p>この会が始まる前に、市歌が流れていました。今、5時の音楽が市歌に変わりましたが、その前は「小さな世界」でした。昔、小金井は、ビートルズの曲が流れている時がありましたが、曲を変えるのは、その都度、何か思いがあって変わるんでしょうけど、一定の曲でいいから、「この曲が聞こえたら、子どもが帰らなくてはいけない時間だ」とか、そういうことが分かるようにしたほうが良いんじゃないかと思いません。府中はずっと、ドヴォルザークの「遠き山に日は落ちて」です。それがずっと流れているんですけど、そのほうが認知されやすいというか、「5時だよ」とか、「4時半だよ」ということが分かりやすいんじゃないかと思うんです。今の曲はとても美しく、林望さんが作詞なさった良い曲だとは思いますが、何が流れているのか把握するまでにとっても時間が掛かって、かかっているなと思ったときには終わってしまうんです。なので、違うテンポにはできないのかもしれないんですけど、何か内容を変えられないのかなって思っています。</p>	<p>夕方に鳴る「ふれあいメロディー」ですね。これがどういう経過で変わってきたかというのは、私も存じ上げてないんですけど、今回は小金井市歌ができて5年という節目でしたので、その5年の節目にもっと市歌を根づかせていこうという思いもあって、ふれあいメロディーにしたということです。以前、私は市議会議員のときに、市歌を制定するという予算が出たときに反対した立場ですので、非常に複雑ではあるんですけど、今、やはり市長としては、これはこれでちゃんと浸透させていけないといけないなと思っています。ただ、おっしゃっていただいたことの趣旨はよく分かります。「これが流れればこう動くんだ」という、条件反射的に「帰る時間だ」という、そういう環境にするべきだということだと思いますので、受け止めておきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
13	新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について	<p>今週の初めにも、一斉に地震速報が流れました。いよいよ東京も来たなと思ったんです。本庁舎は潰れるぐらいのことだと感じたんですけど、今の第二庁舎は新しい。新しいと言っても古いですけど。2階にたまたま長時間居たりすると、すごく揺れるんです。地震かなと思ったのに、職員の方は平然としていらっしゃるんで、聞いたら、前の道路を大きい車が走ると、地震のような振動があるという恐ろしい状況でした。この状況で、市役所の人たちはずっと仕事しているんだなと思いました。また、狭いからいろんなものが積み上げられているので、何かあったら、段ボールがあの人たちの上にも落ちてきたりするんだらうなと思いました。もう一刻も早く、市庁舎ができるのを楽しみに待っていますので、よろしくをお願いします。</p>	<p>新庁舎建設については、もう言うまでもないですが、本庁舎が本当にひどい状況です。昨日、議会質問でもあったんですけども、いろんなところが壊れますし、職員の働く場所としては、もうとんでもない場所になっています。 何とか早く、着実に進めていくつもりでございます。</p>
		<p>私は、「新庁舎と新福祉会館の建設を考える会」の副代表の一級建築士です。新庁舎建設の見直し案を提案しています。私たちの見直し案か、現行案かを、住民の投票で決めませんかということに賛同の方、御署名くださいという1か月間の署名活動をやっておりました。</p> <p>署名の中で、おばあちゃんが私のところに来られて、説明してということで全部説明しました。一番引っかけたのは、福祉会館が耐震構造ということ。白井さんたちが入る建物は免震構造ということで、大地震が来たときにゆっくり揺れる、安全な建物です。耐震構造も、設計者に言わせれば、安全だというお話なんです、中にいるのは人間です。地震力を直接受けて、みんな倒れます。複合化建築のメリットを最大化すると白井さんはおっしゃっているんですけども、私はやはり、同じ免震にするのが大きなメリットではないかと4か月前に提案させてもらっているんです。</p> <p>小金井市の行政上の一番の物決めは、市長と議会で決めるのかもしれないけれども、こういうことを公約まで上げて推進しようとしている。前回この場で、私と白井さんだけの所でしたけど、白井さんに「この現行案の建築物の良さを言ってくれ」と言ったら、「言うのやーめた。また言われるから」というようなお話をされましたよね。だからぜひ、公開討論を申し入れたいんですよ。武蔵小金井駅と東小金井駅の南口、北口、それぞれの駅で4回でもいい。私と市長で討論して、市民に選んでもらう。7月31日が、この住民投票の採決の場になりますので、それよりも前に、ぜひ公開討論を行って、市民の声を聞いていただきたい。</p> <p>それともう一つあります。最後は、建築確認申請は出せるけど、出しちゃ駄目ですよ。強行して出すのは勝手なんですけど、白井さんの政治生命が無くなると思うんですね。これだけ市民から筆が集まって、その声がまとまる前に、先に確認申請を出してしまおう、少しでも進めて着工できる条件を整えてしまおうと、そういうふうには、私たちこの事実を知っている人は感じます。答弁は要りません。一応、その報告だけをさせていただきます。</p>	<p>もう何度も同じ話をさせていただいて、何度もお答えをしていますので、繰り返しになっております。</p> <p>さっき、「言うのやーめた」という発言がありましたが、私はそんなこと言っておりません。「お答えしませんが」と言いました。そういう言い方をしているということは、私はどうかと思います。</p> <p>公開討論会を行うつもりはございません。繰り返し申し上げてきましたが、建築確認申請というのは、それが通れば、建築できるという状況になるわけですが、それはそこで専門家が見て、建築OKの判断するわけですよ。そこで問題があるんだしたら、そこで駄目って言われるわけです。そういうことも含めて、私たちはしっかりプロセスを踏まえてやっていきたいと思っていますし、これまでも民主的な手続を踏まえて、この設計に至っています。</p> <p>もう実施設計を進めている段階で、署名活動による直接請求というのは、地方自治法に定められている権利ですから、それについて言うつもりはございません。ただ、議会でも申し上げてきましたが、これをもう着実に進めなければ、結局、建設費も更に上がっていくことも考えられますし、ここで立ち止まってしまうと、またいつ設計に入れるのか分からない。これまでの議会の動き、市政の動きを見てきたら、それは多分お気づきのことだと分かります。今おっしゃっていた、そこに書かれているようなスケジュールでは到底、建ちませんので、もう庁舎がどうなるか分からない状況になる。さっき話がありましたように、新庁舎建設がいつになるのか分からないと、本庁舎もいよいよ、もう大規模改修しないといけないとなる。そうすると何億円掛かるか分かりませんし、もうずっと使い続けられないといけなくなる。そうすると、新庁舎建設、もしくは、福祉会館の建設を踏まえて、今後、跡地活用をどうしていくかということも含めて、いろいろ算段をしているところでございますが、それも全て不透明になってしまう。これは、小金井市政がまた混乱に陥ってしまうということです。そういうことも含めて、議会でも、市民の方からもいろいろ御意見をいただいています。さっき御意見があったように、これは着実に進めなければならぬことです。何度も御意見をいただいて、御意見は御意見として受け止めますが、私たちは予定どおり、しっかりこれを進めていくということに責任があって、それが小金井市の将来のためだと思っておりますので、進めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
14	第三小学校のトイレについて	<p>今、第三小学校に子どもを通わせています。今、第三小学校が古いというふうに通っていますが、まさに今、子どもの教室が西校舎という、一番古い校舎に該当してまして、トイレの問題があるので来ました。</p> <p>今は1階のトイレを使用しているんですが、とても古くて、臭いがすごくて、給食中も授業中も関係なく、臭いが漂っている状態です。掃除も週2回に増やしていただいて、PTAを介して、私もボランティアなどでトイレ掃除に入っているのですが、もう古いので、掃除しても、なかなか問題解決に至らないという状況です。市長に、いま第三小学校の建て替え問題がどこまで進んでいるのか伺いたいです。</p>	<p>結論から言いますと、第三小学校は、本来は一番初めに建て替えすべきという計画だったんです。それが、第一小学校が、もう教室が足りないということが明確になりましたので、その優先順位を上げたという経過がございました。今の順番でいくと、第三小学校は次の予定になっています。ただ、具体的なスケジュールというのはまだ決まっていません。本来でいくと、多少かぶる部分もありますけれども、ここで計画をしっかりとつけて、順番にやっていくということで、学校施設長寿命化計画というのをつくっていますが、それを今年度から来年度までかけて改定する予定です。子どもの数とも変わってきていますので。令和7年度いっぱい計画を改定して、それ以降のスケジュールが明確にされます。とはいっても、もう来年度に入ったぐらいで、大体のスケジュールは見えてくると思うんですけど、予定どおり三小の大規模改修もしくは長寿命化対策というのが位置づけられるのか、他のところのほうが、優先順位が高くなるのかというのは、今の段階ではお答えできません。申し訳ありません。</p>
		<p>今、第三小学校がもうすぐ建て替えられるだろうから、逆に、トイレ問題も後手後手に回されているってイメージがあるんですけども、そういう点はどうなのでしょう。</p>	<p>まず、トイレの問題は、私も議員のときからずっと取り組んでいましたので、よく分かっているつもりです。ずっとトイレの洋式化ということを地道に進めていたんですけど、タイルも湿式ではなくて、乾式というしつらえにするということも含めて、トイレ全体をリニューアルするということだったので、それだと大きなお金がかかってしまうし、建て替えも今後あるだろうということもあって、全然進んでいなかったんです。確か4年ぐらい前のデータによると、小金井市の洋便器化率自体がもう3割で、東京都内でほぼ最下位状態でした。トイレが和便器で使えないという大きな問題がありましたので、洋便器に変えていくというのを進めてきたところなんです。</p> <p>ただ、それは、和便器じゃなく、洋便器だったら使えるということにはなりましたが、臭いなどの根本的な問題の解決には至っていないというのが現状です。今はほぼ全て、まず洋便器に変えていくというのを進めていまして、臭い対策については、おっしゃっていただいたように、清掃回数を週1回だったのを2回に何とか増やしたとか、そういうレベル感でしか取り組めていないというのが現状です。臭いの原因は、主に配管が古いということですので、そこについては、例えば強力な洗剤を使えばどうかという話もあれば、そういう臭いが苦手な子もいるという話もあり、色々悩ましい問題があって、解決できていないということです。</p> <p>ただ、建て替えがあるので抜本的な工事を控えているかということ、さっき言ったように、洋便器化は進めてきましたので、根本的なところをやっていないというわけではありません。いろんな学校でも同じ話は聞いているところですが、これまで長寿命化計画というのをつくるまで、学校を今後どうメンテナンスしていくかというプランをしっかりとつけていなかったという現状がありますので、今後、なお、そこは課題となっています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
15	消防団不正請求問題のホームページ記事について	<p>小金井市のDX推進について質問したいです。背景としては、先日、4月にSNSのXの中で、ある議論がありました。昨年(2023年)の3月24日に小金井市消防団員手当不正受給関連で、清水市議が団員の不正を黙認していたという新聞の報道に対して、清水市議が不正の事実は知らなかったというポストをしたということがありました。そのため、清水市議に説明を求める内容でした。清水市議は、調査報告書が全てです、調査報告書を見てくださいと回答するばかりで、具体的な回答は一切ないという状況となっていました。</p> <p>ここで言う調査報告書というのは、今年の2月にウェブサイトに掲載、公表された、小金井市消防団員手当の支給に関する調査委員会による調査報告書のことを指します。今年の2月には、小金井市のウェブに消防団長のコメントと共に掲載があったんですが、その調査報告書を4月に見ようとしたところ、前は市のウェブサイトにも、消防団員不正受給のことにに関してページがあったんですけど、今は一切ページがない状態になっておりました。</p> <p>所管が地域安全課なので、削除の経緯を問合せたところ、掲載期間が過ぎたため、削除したという説明がありました。掲載期間は何によって規定されているのかと質問したところ、特に根拠はないという回答がありました。清水市議からは、消されたことは知らなかったと個人的に後で聞いたところですが、SNSで本人が内容を確認してくださいと言っている資料自体が、小金井市のウェブから削除されているというのは、市民が知るべき情報を、行政が恣意的に削除して隠蔽していると捉えられかねない状況だったので、大変遺憾に思うところではあります。</p> <p>これに対して、保育園の過大受給事案に関しては、市のウェブのほうに「株式会社コスモズによる補助金過大受給事案について」というページがちゃんと用意しており、経緯も含めて、今もちゃんと確認できるような状態になっているんです。それに対して、消防団員不正受給問題に関してのページを削除したという対応の違いは何なんだろうかとこのころを、大変、疑問に思っているところであります。</p> <p>掲載期間に関して、2月に出したものが4月にもう消されているという状況だったので、非常に短過ぎるというのはありますし、信頼を回復するのであれば、再発をさせないという意味で、掲載は続けるべきだというふうに思うんですが、なぜ消されてしまったのか。消防団長のコメントすらも全部、その事件すら何の説明もなく、一切消されている状況になっていました。</p> <p>市長に質問したいところとしては、これが消されたことは御存じでしたかということと、これに関する御見解をいただきたいと思っています。</p>	<p>DX推進以前の、どちらかというと、情報公開の話ですよ。大変申し訳ありませんが、私もその調査報告書が、今、ホームページ上から見られない状況になっているということは、知りませんでした。</p> <p>見解ということですが、それは公表する資料として残すべきだろうと思っていますので、これは担当と話をしてみます。ありがとうございます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
16	介護保険サービス事業所の資料について	<p>最近、あまり話題に出ないですけど、高齢者の介護福祉環境についてです。世の中はみんな、子育てとか、少子化対策とかって言っているんですけど、私は自分の父親の介護が直前に来ています。他の自治体の介護保険センターに当たってみてもいるんですけど、隣接する自治体の中で、三鷹市と武蔵野市と国分寺市は、市内や近隣の介護老人の保健施設という形で、一覧みたいなものをつくってくださっているんです。この間、三鷹の送迎バスとトラブルがあったときに、三鷹市にそれを言ったら、武蔵野市の管轄ですと言われました。その情報で、初めて隣接する自治体のサービスを受けられると知りました。小金井市の地域包括支援センターにも聞いたら、三鷹から小金井のデイサービスとかに来ている人もいますよと。私は父の件で5年ぐらい色々情報を集めていたのですが、それを初めて聞いて、他の自治体にこういう資料があるのに、何で小金井市はないのかと思いました。小金井市の隣接の地図も掲載して、ここだったら近いのかなとか、そういうことも分かるような情報も、小金井市からは出てこない。国分寺に近い方もいるだろうし、三鷹に近い方もいるだろうし、そういうチョイスの幅がインフォメーションとしてなかった状態なんです。</p> <p>この介護福祉関係は、予算含めて、今後どう向かっているのかなと思っています。お子さんがいる方にとっては、学校やトイレの件も大事だけど、高齢者にいろいろ負担が掛かっているのも事実なので、自治体としての取組を聞きたいんです。</p>	<p>まずは、隣接の自治体の介護福祉サービスの情報が分かりにくいということですね。まず、そういう御意見あったことを、担当とも話をします。それが無いということに対しては、非常に分かりにくいと思います。ただ、介護のサービスを利用される方は大体、ケアマネジャーと相談して、ケアプランをつくることになりますので、恐らく近隣の自治体のサービスも基本的には利用していると思います。そもそも情報が無いということ、分かりやすく提示できていないということについて、御意見として受け止めさせていただきたいと思います。</p> <p>介護福祉、もしくは、高齢福祉の状況については、一応、計画を新たにつくりましたので、それに基づいて、しっかりと取り組んでいくということです。団塊世代の皆さんが、来年、全て後期高齢を迎えるという2025年問題を前に控えておまして、これに向けて、地域包括ケアシステムの構築を目指して取り組んでおりますが、なお、課題はあります。</p> <p>おっしゃったように、8050問題として、介護する方の負担が重くなっているということ、また、若い方々でも介護をしないといけないというような状況や、ヤングケアラーという問題など、本当に多岐にわたる課題が山積しております。子どもや子育ても大事ですけども、当然、高齢者の皆さんが尊厳を持って、しっかり生き続ける、最後まで生きることができる、そういうまちづくりを、計画上、位置づけて取り組んでおるところでございますので、また引き続き、御意見、お願いいたします。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
17	町会・自治会のあり方について	<p>今回の定例会で、議員の質疑を視聴したんですが、村山議員が質問した、町会や自治会に入る人がどんどん減っているというお話ですが、これは当然だと思うんです。私もマンション暮らしで、21年前に竣工したときにマンション入って、初めは自治会に入っていました。不動産会社からも入ったほうがいいんじゃないかとか言われたので。でも、10年ぐらいたって、やめました。そのとき、私は理事じゃなかったもので、詳しいことは分かりませんが、やっぱりメリットよりもデメリットのほうが大きいと。そういったことを考えると、加入率が低減してくるのは当然だろうと思います。</p> <p>この前の質疑でも、村山議員は、町会・自治会が大事で、加入率を上げるんだったら、もっと優先順位を上げなくちゃ駄目ですと言われていたんですけど、私は意外と、これはもう仕方ないし、逆に、今の時代、町会・自治会って本当に必要なのか、そこから質していったほうが早いんじゃないかと思うんです。町会・自治会が必要だと言うのであれば、「こういうことが必要だからそれだけを残す」というような組織として考えても良いような感じがします。町会・自治会は大事ですが、村山議員は、「市の職員が市民に入っていく力がない」とか、「市の職員が大きなマンションの自治会に行っただけはつきりさせなさい」とか言っていて、一見正しそうな意見なのですが、市長や市からすれば、「そうですね、善処しますね」としか言いようがないと思います。やっぱりその辺は、もう少し何か違う角度から攻めていってもいいんじゃないかという感じです。</p> <p>町会・自治会というのは、「なくちゃいけないんだ」ということから始まることも大事かもしれませんが、それが本当に大事だとすれば、「何が大事か」ということをもう一回原点に戻って、「それをどう残していくか」ということから考えたほうが良いと思います。防災で必要だったら、マンションはマンションで、防災訓練をやっていますしね。だから、せっかく素晴らしい市長に変わったので、物事の本質、原点から戻って1個1個考えていくというのも、面白いんじゃないかと思うんです。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>町会・自治会については、答弁としてああいうふうになるというだけではなく、実態的に考えていかなければならない問題であるということは間違いないです。ただ、おっしゃるように、町会・自治会の会員数がどんどん減ってきているというこの社会情勢を、じゃあ、大きくV字回復して転換できるかという、なかなか難しいというのも現実なんですね。ですので、逆に言うと、町会・自治会については、「これ以上もう下がらないようにするためにはどうするか」ということと、「そこを最大限活用できるためにはどうするか」ということなんです。そして、持続可能な仕組みにするためにどうするかということと併せて、町会・自治会じゃない、いろんなレイヤーの地域の人のつながりの仕組みを色々つくっていくことが重要だと、私は思っているんです。以前は、町会・自治会に入れば良かったんですが、今はみんなが入らなくなってきた時代で、それはもう、そういう捉え方の、そういう社会になってきたということだと思うんですね。ですので、じゃあ、そうじゃない方々はどうやって地域とつながるかという、別のところでうまくつながると。色んなレイヤーを設定することによって、どこかには必ず誰かはつながっている。そういう形にするというのが、恐らく現実的なかなと思っています。</p> <p>ただ、一方で、町会・自治会という仕組み自体は、それとして機能しているものがありますし、特に地域防災の面では、日頃の訓練とか、そういう具体的な活動があって、それは当然、災害が発生したときに生きてきますので、それはしっかり支援しつつ、別のつながりをどうつくっていくとか、そこをどう融合していくとか、その辺りの仕組みを考えないといけないと思っておりますから、あそこで出た答弁は、市としての考え方となります。</p>